

くに くま の だい こ 国久保熊野太鼓



第9回



熊野神社祭典 10月中旬



毎年秋が深まる十月中旬に行われる熊野神社祭典では、『国久保熊野太鼓保存会』の勇壮な太鼓の音が境内に響き渡ります。

以前は、祭典のイベントとして、他地区の団体による太鼓の演奏や踊りなどで祭りを盛り上げていました。しかし、せっかくの地区の祭りを何とか自分たちの手で盛り上げたいと考え、平成元年、地元有志四人で和太鼓の同好会を結成し、太鼓の練習を開始しました。その後、他地区で活躍する団体の太鼓を参考に、独自の太鼓の音をつくり上げていきました。

平成六年四月には、『国久保熊野太鼓保存会』として正式に発足し、活動を開始しました。現在は二十一人の会員を有し、町内の北側にある源太坂の故事に由来する曲「熊野太鼓・坂の章」や「屋台囃子」、「三宅」など数多くの曲を演奏しています。

主な活動は、熊野神社祭典や吉原地区さくら祭、富士まつり、ふるさと芸能祭での披露ですが、最近では他地区の祭りへ呼ばれて参加したり、福祉施設などで披露したりと、幅広く活動しています。



国久保熊野太鼓保存会 会長 外木 英則さん (国久保3)

私は、同好会発足当時から参加しています。当時は、曲づくりや練習場所など大変苦労しましたが、現在では町内会をはじめとする多くの皆さんの支援のおかげで、熊野神社祭典を盛り上げる太鼓に仕上がってきたと思います。また祭典が近づくと、地区の子どもたちに太鼓を指導し、祭りで一緒に演奏しています。この地区は住宅地で、練習に参加してくれる子どもの数も七十人以上いて、活気があふれています。将来は、指導した子どもたちが、私たちがつくった熊野太鼓を引き継いでいってくれたらうれしいですね。

これからも、私たちの太鼓を見に来てくれた人たちに感動を与えられるよう、頑張っていきたいと思えます。会員も随時募集していますので、興味を持った人はぜひ声をかけてください。

こちら編集室

低迷する日本経済に活を入れるため新車を購入。値引き交渉に粒々辛苦の末、ディーラーから「希望ナンバーもつけるので、好きな数字を教えてください」とのこと。車のナンバーなんてどうでもいいと思っていた私でも、自分で決められるとなる

とちょっとうれしい気がしました。いざ数字を考えると、誕生日、2002などのよくあるものから、歴史の年号まで熟慮を重ねる羽目に。手数料4,100円も取られて、こんなに考えさせられるなんて、割に合わないかとも思いました。(誕生日)

人口 242,084人 (前月比+38)
男 120,502人 (-2)
女 121,582人 (+40)
世帯 82,906世帯 (+90) 2月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎51-0123(代) ㊚51-1456



平成十四年三月五日号